

穂いもち伝染源としてのいもち病菌胞子の有効飛散距離の検討

福島県農業試験場 病理昆虫部
平成16年度農業試験場試験成績概要

1 部門名

水稻－水稻－病害虫防除
分類コード 01-01-23000000

2 担当者

山田真孝・根本文宏・松木伸浩

3 要 旨

- (1) 伝染源(葉いもち病斑)から飛散する胞子が、穂いもち伝染源として働く範囲を検討した。
- (2) 伝染源からの距離(x)と面積あたり穂いもち発病穂数(y)の関係は、葉いもちの伝染勾配を表わすkiyosawa-shiomi式($y=ae^{bx}$ 、eは自然対数の底、a、bは定数)に適合した。
- (3) 2001年の気象条件下では、葉いもち病斑上から飛散する大部分の胞子が、穂いもち伝染源として拡散する範囲は狭く、広くても葉いもち病斑を中心にその周囲40～50m程度と考えられた。

4 その他の資料等

なし